

インテリアからのまちづくり

1. 日時： 2016 年 9 月 21 日（水） 18:00～20:00
2. 場所： 富山県立大学 環境工学科棟 I-333 地域協働連携支援室
3. 講演者： 丸谷 芳正先生

参加者 14 名

4. 講演内容

- ・ 肢体不自由の人のための家具づくり。

机や椅子等は姿勢を保持させる工夫が必要。(カットアウト、ふち等)

カットアウトにより肘での姿勢保持が可能に。

- ・ ウィンザーチェア

英国の木で作られた椅子。厚い座板に脚と細長い背棒、背板を直接接合した形状が特徴である。

- ・ 修復の文化

日本の家は 25 年で不動産価値が無くなる。

日本人は家を買うことで財産を失っている。

英国では、インテリア産業と街並みが一体となって関係している。

(パブ文化→地域コミュニティに。昼は老夫婦がランチ夜は飲み屋)

一軒として同じ家がなくそれぞれ個性があるのに調和している。それぞれのインテリアがあり、街並みを支えている。

- ・ 街並み、まちづくり

道路整備の進んでいる日本ではマイカーが生活に溶け込んでいるが、カーポートは家屋の前に位置し、大きく、街並みの景観を損ねている。車を停める事しか考えられていないので、人が生活を行う場所として見直す必要がある。玄関へのアプローチや、収納スペース、母屋、街並みとの調和。まだまだカーポートが建設物であることの認識が低い。